

公益社団法人 大阪府柔道整復師会

第21回 少年少女柔道 豊能大会

実 施 要 項

- | | |
|-------------|---|
| 1、主 旨 | 柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、
柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に期することを目的とする。 |
| 2、日 時 | 令和8年11月15日(日) 8時45分開場、10時試合開始 |
| 3、会 場 | 豊中市立武道館「ひびき」 (豊中市服部西町4-13-2) Tel:06-6864-2288 |
| 4、主 催 | 公益社団法人 大阪府柔道整復師会 |
| 5、後 援 | 豊中市、池田市教育委員会、箕面市教育委員会、能勢町教育委員会
大阪府柔道連盟、大阪府柔道道場連盟、豊能地区柔道連盟、大阪府柔道整復師協同組合 |
| 6、参 加 資 格 | 大阪府内在住、在籍の団体に所属する小学3年生から5年生の男女
参加人数は各道場、各学年5名までとする。
(全日本柔道連盟登録の登録した者であること。) |
| 7、試 合 方 法 | ① 試合はトーナメント方式とする。
② 「国際柔道連盟試合審判規定2025-2028」、「少年大会試合審判規程」による。
③ 勝敗の決定方法は「一本」「技あり」「有効」「僅差」*の4種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。
*「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(有効以上)がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。指導1差は旗判定をもって勝敗を決する。
(「指導」数によって勝敗が決する例＝0 対 2)
(「指導」数に差が出ても引き分けになる例＝0 対 1、1 対 2)
④ 試合時間は2分間とする。
但し、準決勝、決勝戦においてはロスタイム有りとする。
⑤ 参加選手は必ず背部にゼッケンを付けること。無い選手は出場を認めない。
⑥ その他不測の事態が生じた場合の処置は、審判長に一任する。 |
| 8、参 加 基 準 | 本大会は、令和9年度大阪柔整少年少女柔道大会(日整全国少年柔道大会大阪予選会)の予選会も兼ねるため、下記の参加資格に留意すること。
① 令和8年度大阪予選の上位4名には、令和9年度大阪予選会の出場権を与えるため本大会には出場できない。
② 各学年上位4名の者は令和9年度大阪予選会への出場権を与える。
③ 参加選手は必ず背部にゼッケンを付けること。無い選手は出場を認めない。 |
| 9、表 彰 | 優勝、準優勝、3位には賞状等を授与する。 |
| 10、参 加 費 | 500円／各一人 |
| 11、備 考 | ① 参加選手は必ず保護者の承諾を得ること。
② 本大会における負傷等については応急処置の他、主催者は一切その責を負わない。
③ 大会当日、体調不良の者は出場しないこと。
④ 審判会議を9時30分より行う。
⑤ 次年度の「日整全国少年柔道大会」で試合ルール変更の可能性があります。 |
| 12、申 込 期 限 | 令和8年10月28日(水) |
| 13、申 込 方 法 | 本会ホームページ(URL: https://www.osaka-jyusei.or.jp/)にアクセスして必要事項を記入の上、主催者までE-mail(jyudou@osaka-jyusei.or.jp)にてお申込み下さい。 |
| < 注 意 事 項 > | ・大会1ヶ月前以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
・大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
・当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
・監督・コーチの服装は審判員に準じた服装でお願いいたします。
・監督・コーチは2026年度全柔連登録をしており、全柔連指導者資格(ABCいずれか)を有すること。
全柔連指導者資格を有しない者は試合場の選手・監督席に帯同はできない。
・駐車場が限られている為、公共交通機関をご利用下さい。
・大会・イベント中に撮影した写真・動画については、主催団体が広報活動、ウェブサイト、SNS、印刷物等に使用する場合があります。参加者は、これらの目的で写真・動画が使用されることについて、あらかじめ了承するものとします。 |